

熱の記録 (氏名) オ か月

◎熱性痙攣 (あり ・ なし)
 ◎ダイアアップ37.5℃以上で挿入 (時 分)
 熱が続けば8H後 (時 分)
 熱が続いても2回で終了!!

◎突発性発疹 (済 ・ まだ)

◎インフルエンザワクチン: 1回・2回・未接種
 インフルエンザ: (A ・ B) □まだ

◎ () 幼・保・小・中
 ・流行なし
 ・流行している ()

■気になったこと、聞きたいこと
 .
 .

熱さましの座薬、頓服を使用した時は
 ★印をつけてください。
 ▲お薬希望 (粉・シロップ・錠剤)
 ▲熱さまし ・ある (個くらい)
 ・なし (希望 座薬・粉・錠剤)
 解熱剤は38~38.5℃以上 ぐずるとき
 (下がる幅は1~2℃)
 5~6時間間隔で再度可 (ひどい時は4時間で可)

医療法人いけざわこどもクリニック
 診察: 9時~18時 ネット予約 (深夜0時~)
 木曜休診・土曜日午前診察

月	日	日	日	日	日	日										
内服																
時間	4時	12時	20時	4時	12時	20時	4時	12時	20時	4時	12時	20時	4時	12時	20時	
40																
39																
38																
37																
36.5																
咳																
鼻																
食水																
嘔吐																
下痢																
腹痛																
頭痛																
のど																

次持って来てね

★熱や症状の経過を記録して持ってきてください★

感染性胃腸炎・お腹の風邪・のどの風邪・咽頭炎・扁桃腺炎・中耳炎
 インフルエンザ A B RS・アデノ・溶連菌・気管支肺炎
 ★登園許可証希望の方は、必ずこの熱計表 (熱記入して) をご持参ください★
 ★必ず6日休み・解熱後 (平熱になって) 学童児は3日、未就学児4日休み★

熱さましのQ&A

- Q 粉と坐薬どちらが効きやすいの?
 A どちらも効果は変わりません。使いやすい方を使ってください。※嘔吐があるときは、坐薬がよいかもしれません。
- Q 坐薬を使ってもお熱が下がりません・・・
 A だいたい1~2℃くらいです。横ばいの子供さんもいます。(例) 39℃代→38℃代までです。
 熱の下がりがなくとも、それ以上の熱の上がりをおさえています。
- Q 熱さましは何時間ごとに使っているの?
 A 5~6時間あけてください。どうしてもきつそうな時は4時間で使用して大丈夫です。
- Q 熱さましは使ったほうがいいのか?
 A きつそうであれば使ってあげてください。熱が高くても元気にしていれば、そのまま様子みてもいいです。
 熱がなくとも、頭痛い・耳痛い・機嫌が悪いときは使ってあげてください。
- Q ダイアアップ (痙攣止め)・ナウゼリン (吐き気止め) の坐薬を使ったらどれくらいあければ使用しているの?
 A 30分あければ、次の坐薬を使用しても大丈夫です。※痙攣止め (ダイアアップ) を優先しましょう。
- Q 家にある坐薬使えますか?
 A 使用期限は約5年持ちます。(みよし薬局では、スタンプがおさされています。参考にしてください)
- Q 坐薬の使用量がわかりません?
 ※6ヶ月未満はアンヒバ100mg 1/2ヶです。6ヶ月以上は、下の表を参考にしてください。

5~6kg	7~8kg	9~11kg	12~14kg	15~17kg	18~21kg
アンヒバ 100mg 2/3ヶ	アンヒバ 100mg 3/4ヶ	アンヒバ 100mg 1ヶ	アンヒバ 200mg 2/3ヶ	アンヒバ 200mg 3/4ヶ	アンヒバ 200mg 1ヶ